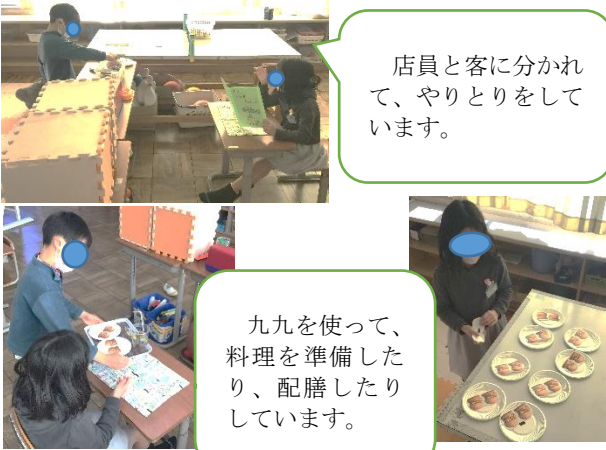


【作品名】 かけ算レストラン	【学校名】 日立市立大みか小学校
【活用できる領域・教科等】 数と計算（算数科・数的要素の理解）	【制作者名】 平松 茉莉江
【制作の意図】 2 学年児童のかけ算の学習では、おはじきで「○のいくつ分」を操作して学習したが、なかなか定着が図れなかった。そこで、児童が普段から好んで遊んでいる「おままごと」を発展させた、「かけ算レストラン」を開き、かけ算の学習につなげようと考えた。 児童が遊びの中でかけ算に親しみ、「かけられる数×かける数」を感覚的に理解できる手立てになればよいと考え、本教具を制作した。	【使用方法】 店員と客に分かれて行う。 ① 客はメニュー表をみて、 「○のだんの△を□皿下さい。式は○×□＝☆です。」と注文する。 ② 店員は、紙皿に品物を準備して、配膳する。 「○×□＝☆、の△をお持ちしました。」と言う。 ③ 役割交代をする。 ※かけ算九九が分からないときは九九表を見て確かめる。
【制作上の工夫】 児童の学習への興味関心が高まるように、料理は写真をラミネート加工した。 また、紙皿やランチョンマット、おぼんの準備、メニューを作成し、レストランの雰囲気が感じられるようにした。	【見取り図】  メニュー表 1のだん ステーキ 2のだん ナズ ハンバーガー 3のだん パンケーキ 4のだん ドーナツ 5のだん チキン ナゲット 6のだん たこやき 7のだん 肉だんご 8のだん きょうざ 9のだん スペシャル アイスクリーム 1～9の段の料理 4の段のドーナツを4皿注文されたときの例
【写真】  店員と客に分かれて、やりとりをしています。 九九を使って、料理を準備したり、配膳したりしています。	【使用効果と応用発展】 教室へ来ると、「かけ算レストランをやってもいいですか。」と、積極的に本教材に取り組もうとする姿が見られる。また、異学年と同じ授業時間には、休憩時間に異学年の児童をレストランに招待している。練習に励んでおり、かけ算九九への理解が少しずつではあるが、確実に深まってきている。 今後は紙皿に料理を並べたものを児童同士で問題を出し合う等して、かけ算九九への理解がさらに深まるよう発展させていきたい。
【材料・材質・部品等】 - 料理の写真 - ラミネートフィルム - 紙皿 - かけ算九九表 - おぼん - ランチョンマット	